

平成27年3月31日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 秦野地域コミュニティ推進協議会

代表者名 北浦 啓次



記

事業の名称	地域掲示板設置事業
事業実施前の状況	地域掲示板のない地域があり地域コミュニティの活動内容や情報の共有ができなかった。
事業実施後の状況	掲示板を設置することができ地域コミュニティの活動内容や地域団体の情報を掲示することができた。
事業の効果	地域コミュニティの活動内容・地域団体の情報を地域住民に知らせることができた。
今後の課題等	掲示板のない地域からの要望があるため引き続き掲示板設置をしていく。

平成27年3月31日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 秦野地域コミュニティ推進協議会

代表者名 北浦 啓次



記

事業の名称	防犯カメラ維持管理事業
事業実施前の状況	交差点での事故・事件に関する情報収集の手段がなかった。
事業実施後の状況	交差点での情報収集ができるようになった。
事業の効果	防犯カメラがあることにより、事件の抑止効果が期待できる。また、事故があった時に客観的な情報源になっている。
今後の課題等	地域内の大きな交差点にまだ設置されていないところがあり設置していく必要がある。

平成27年3月31日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 秦野地域コミュニティ推進協議会

代表者名 北浦 啓次



記

事業の名称	AED管理事業
事業実施前の状況	地域内全会館にAEDは設置したが、保管場所が決められていなかったので場所がわかりにくかった。 消防署での講習を受ける人が少なかった。
事業実施後の状況	AEDの保管BOXを設置した。 講習を受ける人が少しずつ増えた。
事業の効果	AEDがどこにあるか一目でわかり、突然の疾病や事故に対処することができるようになった。 講習を受けることにより対応できる人が増えた。
今後の課題等	AEDは引き続ききちんと管理していく。 講習を受ける人がまだまだ少ないので啓蒙活動をしていきたい。

平成27年3月31日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 秦野地域コミュニティ推進協議会

代表者名 北浦 啓次



記

事業の名称	地域内公園施設改修事業
事業実施前の状況	遊具のペンキがはがれているものがあったり、砂が足りなかった。遊具が足りない公園があった。
事業実施後の状況	全公園の遊具のペンキの塗り直しをした。砂を入れた。遊具が足りないところはスプリング遊具を設置し、遊具に設置しているべきタイヤを設置した。
事業の効果	公園がきれいになり使いやすくなった。 遊具が増えたところでは来園者が増えた。
今後の課題等	安心安全な公園になるように改修していく。

平成27年3月31日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 秦野地域コミュニティ推進協議会

代表者名 北浦 啓次



記

事業の名称	地域コミュニティ紙発行事業
事業実施前の状況	「秦野まちづくりだより」を池田市報に挟み込み配布して、協議会活動のPRに努めてきた。 地域分権をより定着させるために、活動・関心をさらに高める必要があった。
事業実施後の状況	地域の催しを中心に、写真を多くし、行事には、より広くわかりやすく、記事内容の充実にも努めた。
事業の効果	各団体の行事日程一覧を記載したことで、地域の行事について関心が深まった。 写真・記事などの紹介で、より多くの人々の目を引くようになった。
今後の課題等	まだまだ活動のPRが足りない。地域住民とのコミュニケーションが必要である。協議会の会員の募集も含め、啓もう活動に努めたい。

平成27年3月31日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 秦野地域コミュニティ推進協議会

代表者名 北浦 啓次



記

事業の名称	地域ギャラリー維持管理事業
事業実施前の状況	地域全体としての共通の作品などの発表や情報の掲示 場所が不足していた。 2週間に1度の入替のため、会員の負担が多かった。
事業実施後の状況	1か月に1度の入替にして、入れ替え作業を掲示者にして いただくことで、会員の負担は軽減した。 地域の催しも写真などで紹介した。 幼稚園の作品も継続的になってきた。
事業の効果	毎年、新しい作品が増えている。 認知度がアップしている。 通行人の方にもよく見ていただいている。
今後の課題等	作品集めはまだまだ必要。 今後も根気強く広報活動を続けていきたい。

平成27年3月31日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 秦野地域コミュニティ推進協議会

代表者名 北浦 啓次



記

事業の名称	校区盆踊り大会事業
事業実施前の状況	スポーツ振興会・子ども会等で開催している。 コミュニティ意識の高揚をはかる。
事業実施後の状況	備品などで共同開催を支援しており、参加人数も増加している。
事業の効果	備品を揃え、スポーツ振興会・子ども会への支援が充実したと思われる。
今後の課題等	今後は、古くなった備品を順次交換する必要がある。

平成27年3月31日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 秦野地域コミュニティ推進協議会

代表者名 北浦 啓次



記

事業の名称	地域活性推進事業
事業実施前の状況	平成22年から毎年恒例となり、平成25年から会場を渋谷公園から秦野小学校グラウンドに変更したことで、参加人数が増えた。 必要な備品の購入を貸し出した。
事業実施後の状況	秦野小学校グラウンドで行うことにより、参加・出店人数が増えた。さらに人数が増えても対応できると思う。
事業の効果	地域全体の交流の場ができ、渋谷中学校の生徒の参加により、幅広いコミュニケーションが図られている。
今後の課題等	秦野小学校のグラウンドが改築工事のため、工事内容を確認しながら臨機応変に対応していきたい。

平成27年3月31日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 秦野地域コミュニティ推進協議会

代表者名 北浦 啓次



記

事業の名称	秦野地域花いっぱい運動支援事業
事業実施前の状況	今回で2回目の事業。渋谷中学校・地域の各団体と連携して行った。
事業実施後の状況	保護者・保護者OB・教職員・地域の方々が参加し、菊づくりを中心に草花の栽培に対して支援した。
事業の効果	咲いた菊を中学校の文化祭で展示することにより来訪者を和ませた。また各会館にも分けて喜ばれた。
今後の課題等	今後も継続的に支援していきたい。

平成27年3月31日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 秦野地域コミュニティ推進協議会

代表者名 北浦 啓次



記

事業の名称	自然学習講習会・昆虫育成事業
事業実施前の状況	渋谷公園にある養育場に自然のカブト虫が卵を産みに来るのでそれを掘り起こして養育の勉強会をして幼虫を子供たちに配布した。また、養育場の土の入替をして改めて卵を産みに来る土壌を作った。
事業実施後の状況	今年は実施時期が遅かったため、幼虫の掘り起しは大人だけで前もって行ったため、子供たちにその感動は伝えられなかったが、幼虫の成長を見てもらうことができた。
事業の効果	養育場の土の入替をすることにより、土壌の清潔さが保たれる。子供たちに自然の営みを感じてもらえた。
今後の課題等	幼虫がさなぎになる前に事業を遂行していきたい。

平成27年3月31日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 秦野地域コミュニティ推進協議会

代表者名 北浦 啓次



記

事業の名称	キッズランド支援事業
事業実施前の状況	キッズランドでの文具等が足りない、古くなっている。
事業実施後の状況	文具等が増えた。
事業の効果	遊びの幅が広がり、楽しんで過ごしている。
今後の課題等	まだまだ文具等が足りないし古くなっているので、継続的に支援する必要がある。

平成27年3月31日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 秦野地域コミュニティ推進協議会

代表者名 北浦 啓次



記

事業の名称	地域内子ども会等活動支援事業
事業実施前の状況	地域内の子ども会同士の間での交流が少ないため、コミュニケーションが十分に図れなかった。
事業実施後の状況	学校などでは行くことが減っている寺院へ行き、山へ登り、子ども会同士の間での交流ができた。
事業の効果	寺院へ行くことで歴史の勉強ができ、山登りをすることで体力作りにもなった。子ども会同士の間でのコミュニケーションが図れたことで仲良くなった。
今後の課題等	できるだけ多くの子どもたちに参加してもらえよう、場所の設定・日程の調整をして継続支援していきたい。

平成27年3月31日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 秦野地域コミュニティ推進協議会

代表者名 北浦 啓次



記

事業の名称	市民レクリエーション大会事業
事業実施前の状況	地域のスポーツ振興会と子ども会等の地域団体が開催する事業の支援が必要だった。
事業実施後の状況	支援することにより、スムーズな開催ができた。
事業の効果	地域住民の大きなイベントになっている。 子ども会の活性化に寄与している。
今後の課題等	今後も引き続き支援していく。 子ども会と連動して地域の活性化を推進する。